令和６年度（2024年度）

北海道大学スマート物質科学を拓くアンビシャスプログラム

（Ambitious Program for Smart Materials Science：SMatS）

プログラム生募集要項**（対象：修士1年生）**

「スマート物質科学を拓くアンビシャスプログラム（SMatS）」は、化学・生命・材料・環境など広義の「物質科学」に、現象を抽象化して理解する「数理科学」、コンピュータシミュレーションに基づいた「計算科学」、ビッグデータから有用な情報を抽出する「データ科学」を融合させ、実験のみの研究手法から脱却し、物質科学研究を高速化させイノベーションを引き起こす新たな研究分野「スマート物質科学」を身につけた人材を育成します。このプログラムは本学において、平成25年度より進められてきた「博士課程教育リーディングプログラム　物質科学フロンティアを開拓するAmbitiousリーダー育成プログラム」の募集終了を受け、それを引き継ぐ形になります。またスマート物質科学の先端研究を推進している化学反応創成研究拠点（WPI-ICReDD）と連携し、計算科学・情報科学・実験科学の融合領域の基盤となる力を涵養します。従来の物質科学の枠組みにとらわれない高い専門性である「スマート物質科学的デザイン力」に加えて、社会実装を実現する力としての俯瞰力、人的ネットワーク形成力、国際的発信力を養成するカリキュラムを提供します。**尚、本プログラムは、「北海道大学EXEX博士人材 フェローシップ」の募集の際の、加点対象教育プログラムに選ばれています。**

優秀で意欲のある博士後期課程進学予定者をプログラム生として採用します。

【応募資格】

以下の学院（専攻）の博士後期課程に進学予定の修士課程１年次の大学院生。

総合化学院（総合化学専攻）、理学院（数学専攻、物性物理学専攻、宇宙理学専攻、自然史科学専攻）、工学院（量子理工学専攻、材料科学専攻）、環境科学院（環境物質科学専攻）、生命科学院（生命科学専攻、ソフトマター専攻）、情報科学院（情報科学専攻）

【採択予定者数】

　 10名程度

【採用期間】

**令和6年10月〜令和11年3月の4.5年間**

**（令和5年10月修士課程入学者は令和10年9月までの4年間）**

【応募方法】

1. 以下の①～③のすべてを提出してください。
   1. 応募調書（A4 １部　Word形式）
   2. 学部あるいは高等専門学校専攻科での成績証明書（各1部　PDF形式）
   3. 指導教員からの推薦書（1部　Word形式）
2. 応募調書・推薦書は所定様式を「スマート物質科学を拓くアンビシャスプログラム（SMatS）」のホームページ（<https://phdiscover.jp/hu/smats/application>）からダウンロードして作成してください。

【提出先、提出期限】

１． 応募調書（①）、成績証明書（②）ともに、応募者本人が下記のメールアドレスへ電子メールの件名を「プログラム生応募（○○○○（氏名））」とし、指導教員へCCして提出してください。不明な点は下記連絡先に問い合わせてください。

推薦書（③）は応募者の指導教員から、応募者本人へCCせずに、下記メールアドレスへ提出してもらってください。

　　　提出先：スマート物質科学プログラム事務局

〒060-0810 札幌市北区北10条西8丁目

北海道大学大学院 理学研究院化学部門内（理学部7号館1階06室（7-1-06室））

TEL: 011-706-3360, FAX: 011-706-3603, E-mail: smats@sci.hokudai.ac.jp

２．提出期限：令和6年7月29日（月）正午

【選考方法】

提出書類による一次審査ならびに口頭試問による二次審査を実施します。

二次審査（令和6年8月下旬実施予定）　（口頭試問、20分）

発表（7分）：研究成果、今後の研究計画、志望動機、未来構想を必ず含むこと

　　　 試問（13分）：上記項目についての質疑

【選考結果】

採用された本人および指導教員に文書で通知します。

【選抜試験オンライン説明会(ZOOM)】

　本プログラムの選抜試験の説明会を行いますので参加してください。

　　日時：令和6年6月10日（月）18:30〜19:00

※参加には事前登録が必要です。参加希望者は、事前にご自身の「学院、研究室名、名前」をSMatS事務局([smats@sci.hokudai.ac.jp](mailto:smats@sci.hokudai.ac.jp))までお知らせください。ZOOMの接続情報をお知らせします。

【個人情報の取扱いについて】

提出書類に記入された個人情報は、本選考及び合格者の採用手続きを行うために使用し、合格者の採用後には、教務関係、学生支援関係等、プログラム遂行の目的に限定して使用します。他の目的での使用およびプログラム関係者以外への提供は行いません。